

令和 7 年度(2025 年度)「小学校給食に関するアンケート」調査結果(概要)

【実施目的】

今後の学校給食の献立検討や食育推進に繋げることを目的として、児童の意見をアンケートにより調査するもの。

【対象者】

豊中市立小学校、および義務教育学校の前期課程に在籍する児童 3~6 年生

【調査時期】

令和 7 年(2025 年)11 月 4 日(月)~11 月 28 日(金)

【調査方法】

オンライン(Forms)によるアンケートを実施。

【対象者数と回答率】

対象者数(※)	14,854 人
回答者数	8,750 人
回答率	58.9%

○学年

3 年生	2315 人	27%
4 年生	2202 人	25%
5 年生	2117 人	24%
6 年生	2116 人	24%

※令和 7 年(2025 年)5 月 1 日現在の「小学校・義務教育学校(前期課程)在籍児童数調査票」より

【概要】

○給食は好きですか？

好き	4678 人	53%
やや好き	2016 人	23%
どちらでもない	1278 人	15%
やや苦手	440 人	5%
苦手	338 人	4%

○給食が好きな理由は何ですか？(「好き」「やや好き」を選んだ方へ調査・複数回答可)

おいしいから	4750 人	38%
毎日違うものが食べられるから	2811 人	23%
クラスのみとなと一緒に食べられるから	2649 人	21%
栄養バランスが考えられているから	1709 人	14%
その他	429 人	3%

○給食が苦手な理由は何ですか？（「やや苦手」「苦手」を選んだ方へ調査・複数回答可）

味が苦手だから	456 人	31%
苦手なものが入っているから	445 人	30%
量が多いから	225 人	15%
食べる時間が足りないから	217 人	15%
量が少ないから	32 人	2%
その他	105 人	7%

○給食は残さず食べていますか？

毎日残さず食べている	2530 人	29%
ほとんど残さず食べている	2776 人	32%
ときどき残している	1945 人	22%
よく残している	1499 人	17%

○給食を残す理由は何ですか？

（「ときどき残している」「よく残している」を選んだ方へ調査・複数回答可）

苦手なものが入っているから	1908 人	35%
味が苦手だから	1175 人	22%
食べる時間が足りないから	1094 人	20%
量が多いから	1035 人	19%
その他	214 人	4%

○給食のご飯とパンのどちらが好きですか？

ごはん	3580 人	41%
パン	2387 人	27%
どちらも好き	2414 人	28%
どちらも好きではない	369 人	4%

○給食で出る牛乳を飲んでいますか？

毎日全部飲んでいる	5712 人	65%
時々残している	1438 人	17%
毎日少し残している	629 人	7%
毎日全部残している	971 人	11%

○牛乳を残す理由は何ですか？

（「少し残している」「全部残している」を選んだ方へ調査・複数回答可）

量が多いから	954 人	20%
味が苦手だから	910 人	19%
お腹が痛くなるから	724 人	15%
給食と合わないから	495 人	10%
アレルギーなどで飲めないから	182 人	4%
その他	1581 人	32%

○好きな給食のおかずは、ありますか？（3 つまで回答可）

1	カレー	2909 人
2	からあげ	2117 人
3	ミニ焼きそば	1208 人
4	ゼリー類	1176 人
5	サラダ、野菜がメインのおかず	986 人

○苦手な給食があれば、教えてください。

1	魚料理	885 人
2	サラダ	780 人
3	スープ類	657 人
4	パン類	612 人
5	きのこを使用したおかず	566 人

○好きな給食のおかず(つづき)

6	米粉豆乳パン	849人
7	果物・フルーツミックス	749人
8	スープ類	451人
9	ポテト	442人
10	かき揚げ	434人
10	肉がメインのおかず	434人

○苦手な給食(つづき)

6	卵料理	424人
7	牛乳	406人
8	肉料理(脂身含む)	314人
9	豆類を使用したおかず	293人
10	ゴーヤを使用したおかず	259人

○朝ごはんは、1週間のうち何日食べますか？

毎日食べる	7429人	85%
食べない日がある	903人	10%
食べない日が多い	273人	3%
食べない	145人	2%

【総評】

昨年度は豊中市立小学校・義務教育学校(前期課程)の全学年を対象にアンケートを行いました。今回は、低学年におけるICT端末の使用状況等を鑑み、3年生以上を対象として実施し、58.9%と半数以上からの回答を得られました。

【給食への好意度】としては76%が給食を「好き」または「やや好き」と回答しており、【完食状況】は「毎日残さず食べている」または「ほとんど残さず食べている」との回答が61%にのぼることから、学校給食が概ね好意的に受け入れられていると考えられます。一方で、「ときどき残している」または「よく残している」児童が39%いる中で、残食の主な理由として「苦手なものが入っている(35%)」「味が苦手(22%)」に続き、「食べる時間が足りない(20%)」という時間的な制約も課題として浮き彫りになりました。

【牛乳の飲用】に関しては、牛乳を毎日全部飲む児童は65%でした。残す理由として、「量が多い(20%)」ことや「味が苦手(19%)」であることを残す理由としている児童が多い結果となりました。成長期の期間は、カルシウムをしっかり摂るべき時期であるため、食育として、牛乳を飲む必要性等も伝えていく必要があると考えられます。

【朝食の摂取習慣】は児童の85%が毎日朝食を摂取しており、基本的な食習慣は概ね定着していると言えますが、豊中市健康づくり・食育推進計画では、少年期の指標項目として「朝食を食べる頻度が週に2~3回以下の人の減少」を目標に掲げていることから、今後も朝食に関する食育を進めていくことが重要であると考えられます。

【好き・苦手な給食の傾向】においては、サラダや野菜がメインのおかずは「苦手なもの」の2位(780件)であると同時に、「好きなもの」でも5位(986件)に入っています。中でも「りっちゃんのサラダ」が好きとの回答も多く、実際に国語で学ぶお話に出てくるメニューであることから、興味をもって喫食している結果と考えられます。今後も、多角的な視点で食育を推進し、食への興味を向上できるよう努めます。

全体として給食への満足度は高いものの、給食を「好き」と思う児童をより増やせるよう、今回のアンケート結果を受け、学校給食運営、食育の推進に尽力して参ります。